

令和2年度 生涯学習部研修会報告（岐阜地域）

日時：2021年2月7日 日曜日 10時～13時

形式：WEB研修会（Zoom使用）

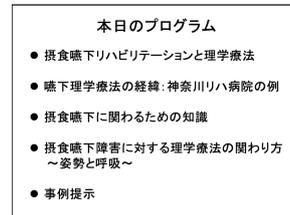
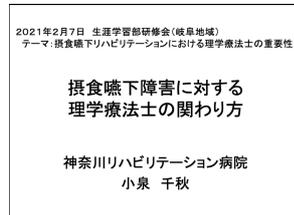
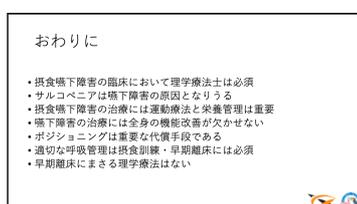
テーマ：「摂食嚥下リハビリテーションにおける理学療法の重要性」

講師1：國枝 颯二郎先生（岐阜大学脳神経内科 医師 臨床講師）

講師2：小泉 千秋先生（神奈川リハビリテーション病院 理学療法士

日本理学療法士協会 栄養・嚥下理学療法部門 国際担当）

参加人数：受講者20名（スタッフを含む）



國枝颯二郎医師による嚥下機能の検査・評価

小泉千秋先生による治療実践

今回の研修会はWEBでの開催となり、30名定員で18名の方に参加していただきました。参加人数としては満足しており、テーマの選択もよかったかと感じております。

まず、1つ目の國枝先生の講義では「嚥下障害とは?」「評価方法」「検査の実態」など、絵や動画など分かりやすいスライドを多く使用していただき、非常に興味深いお話をたくさん聴くことができました。また、ボトックス療法や内視鏡検査の動画、サルコペニアの嚥下障害のお話は非常に興味深いものでした。医師としてリハビリの重要性も熱く語ってくださり、理学療法士として嚥下だけでなく、リハビリテーションに対してのモチベーションを上げていただけたのではないかと感じております。

2つ目の小泉先生の講義では、理学療法士目線でのお話で、「摂食嚥下リハビリテーションとは」「栄養理学療法」について、嚥下障害のある患者への良い接し方や実際の効果的な訓練方法をお話していただきました。理学療法士として、患者のポジショニング方法や、嚥下と呼吸の関係、胸郭の拡張性を促す運動例など実際の臨床にすぐにでも役立てられる講義内容でした。また、小泉先生が実際に経験された症例を数例あげてくださり、その時に考えた事や工夫した事など教えていただくことができ、とても勉強になりました。

来年度の研修会も、たくさんの方に興味を持っていただけるような、HOTなテーマを考えていきたいと思っております。

生涯学習部 渡邊 翼